

オンリーワン徳島行動計画(案)概要

第1 策定にあたっての考え方

1 策定の趣旨

大きな時代の転換期を迎えている二十一世紀初頭の今日、新しい時代を見据えた本県の目指す姿と課題の解決に向けた具体的目標を掲げ、行政をはじめ県民一人ひとりが、共通の認識を持ちながら、互いに連携・協働して、主体的に取り組むことにより、徳島の再生を図る必要があります。

このため、本県の魅力や個性を十二分に引き出し、全国に誇りうる「オンリーワン徳島」の実現に向け、新たな計画を策定するものです。

2 基本的な事項

(1) 計画の性格と役割

本県の進むべき方向と目標を示すとともに、このために重点的に取り組むべき方策を明らかにする行動計画であり、今後の県政を計画的に推進していくための基本となります。

(行動計画：具体的な数値目標、達成年度などの工程を明示。

目標達成のために効果的な施策を重点的に実施。)

(2) 計画期間

策定時から平成18年度末までの約3年間とします。

第2 本県を取り巻く時代の潮流と課題

【少子高齢化と人口減少社会】

少子高齢化が進み、人口が減少する時代の中で、地域のすべての人が主体的に社会に参画し、地域力を高めることが求められています。

【経済情勢と産業構造の変化】

急激に変化する経済環境の中で、新たな産業の創出や、地域産業の基盤強化が求められています。

【地球環境の時代】

地球規模での環境の視点から、現在の生活様式や社会経済システムを見直し、自主的、主体的に行動することが求められています。

【高度情報化とグローバル化】

高度情報化に適切に対応するため、積極的にIT（情報通信技術）基盤の整備、人材育成などに取り組み、情報格差を是正する必要があります。

また、国際化の進展を地域発展の原動力とするため、国際的に開かれた人や地域づくりが求められています。

【安全・安心を求める社会】

私たちの生命や暮らしに様々な脅威や危険が迫る中で、安全で安心して暮らせる生活環境が求められています。

【地域社会の再生】

地方分権の時代において、県民との連携・協働による自立した地域づくりが求められています。

【価値観・生活様式の多様化】

「成熟の時代」を迎え、効率性の追求から、人間性の回復に向けて、真に豊かな生活の実現が求められています。

【社会資本整備を取り巻く状況】

新たな時代の社会資本整備として、第三の社会資本整備であるIT（情報通信技術）基盤の整備やユニバーサルなまちづくり、環境への配慮が求められています。

また、治水や砂防事業、道路や空港・港湾事業など県づくりの基盤となる事業についても、事業の重点化・効率化や計画的な維持管理の推進、事業の透明性・公正性の確保を図りながら、今後とも計画的に進めていく必要があります。

第3 計画の理念及び目標

1 基本理念

計画の基本理念は、「オンリーワン徳島」の実現とします。

人々の豊かさに対する価値観が大きく変わりつつある二十一世紀において、徳島の将来は大きな可能性を秘めています。

一方、時代の大きな潮流に加え、本県を取り巻く様々な課題があります。

このような状況の中、徳島の再生を図るため、本県の魅力、個性を十二分に引き出し、従来のように全国一律で同じことをして単に全国上位を目指すのではなく、全国に対して徳島こそという絶対優位を目指していく、「オンリーワン徳島」の実現を基本理念とした、県づくりを進め、すべての県民が、ここに生まれて良かった、住んで良かったと実感でき、また、誇りを持って夢を語れる徳島を実現します。

生まれ変わった新しい徳島は、

まさに、環境首都と呼ばれるような良好な環境と、県民の高い環境意識の下で、すべての県民が、確かな経済的基盤を持って、安全に安心して暮らしている、

また、自立し、互いに個性を尊重し思いやる中、心がいやされ、生きがいと感動に満ちた生活を送っている、

さらに、こうした個々の人々の暮らしを基礎に、少子高齢化、男女共同参画、高度情報化などに適切に対応したにぎわいあふれる地域社会が築かれている、

魅力にあふれ、個性が輝くふるさとです。

2 基本目標

基本理念に基づき、以下の七つの基本目標の達成に努めます。

基本目標1 「オープンとくしま」の実現

～清潔感と自信みなぎる「オープンとくしま」の実現を目指します～

これまでとかく陥りがちだった行政主導の発想や行動原則を、もう一度県民の目線に立って見つめ直し、限られた行財政資源の戦略的・効率的な配分を行うことが必要です。さらに、行政と県民の信頼関係を基盤として、官民協働で県政を推進することにより、地域自立型の社会を構築することも必要です。

そこで、新しい価値基準による行財政基盤を確立し、清潔で開かれた、自信みなぎる県政運営を目指します。

基本目標2 「経済再生とくしま」の実現

～経済活き活き、雇用はつらつ「経済再生とくしま」の実現を目指します～

本県の地理的特性やこれまで培ってきた技術や進取の気質を有する人材などの経営資源を活かしながら、これに磨きをかけ、地域産業の基盤強化や新たな産業の創

出を行うとともに、様々な分野や形態の雇用の創出に繋げていくことが求められています。また、基幹産業の一つとしての農林水産業について、新たな産地育成や高付加価値化などによる活性化も重要です。

このため、県を挙げて戦略的かつ効果的な経済雇用対策を推進し、活力ある経済の再生と雇用の促進を目指します。

基本目標3 「環境首都とくしま」の実現

～豊富な自然環境を活かした、世界に誇れる「環境首都とくしま」の実現を目指します～

県民一人ひとりが環境を大切に思う意識を高め行動することや、あらゆる施策に環境の視点を取り入れることなどを通じ、社会経済活動に伴う環境への負荷ができる限り少ない、自然と共生する、持続可能な循環型の地域社会づくりを行うことが必要です。

憲章、条例などの新たな枠組みの下、県民を挙げて環境の保全・創造の行動や活動に取り組み、本県の豊かな自然を活かしつつ、良好な環境が達成された、まさに世界に誇れる環境首都づくりを目指します。

基本目標4 「安全・安心とくしま」の実現

～南海地震対策をはじめ安心して暮らせる「安全・安心とくしま」の実現を目指します～

南海地震をはじめとして、「食」の安全に対する不安、新たな感染症の発現、さらには犯罪の増加など、私たちの生命・暮らしが脅かされており、すべての県民が夢や希望にあふれ、一生を通して、幸せな生活を送るため、まず、安全で安心できる生活環境を整備することが重要です。

このため、危機管理の視点を踏まえ、県民の生命と財産の保護を第一とした南海地震対策をはじめ、安全・安心な食料の提供や医療の確保、犯罪対策・交通安全対策を行うなど、すべての県民が安全に、安心して暮らせる社会の構築を目指します。

基本目標5 「いやしの国とくしま」の実現

～子どものびのび、文化の香り漂う「いやしの国とくしま」の実現を目指します～

将来を担う子どもや若者が、夢を持ち未来に羽ばたいていけるよう、個性が尊重されゆとりのある学習環境づくりや健全に育成される環境づくり、あらゆる世代が、教育・学習やスポーツを享受できる環境づくりが必要です。

また、芸術文化に触れることを通じた豊かな感性の涵養や、阿波の文化を再認識し新しい文化の創造に取り組む土壌づくりも求められています。

そこで、県民一人ひとりが、多様な教育・学習やスポーツ、世界レベルの芸術・文化などを享受できる機会を増やし、子どもはもとより若者や大人ものびやかに生き、文化の香りが漂う中、心がいやされる社会づくりを目指します。

基本目標6 「ユニバーサルとくしま」の実現

～年代、性別などを問わず、すべての人が主体性を持ってはつらつと生活できる「ユニバーサルとくしま」の実現を目指します～

男女が社会の中で個性と能力を発揮しやすい環境づくり、子どもを生き育てやすい環境づくり、高齢者や障害者が元気で自立し、自由に社会参加できるような環境づくり、さらには、この基盤として「すべての人が利用しやすいように、あらかじめ」というユニバーサルデザインの考え方に基づいたまちづくりなどが重要です。

こうした取り組みにより、年代、性別などを問わず県民一人ひとりが、主体性を持って、はつらつと生活できる、すべてのひとのための（ユニバーサルな）社会づくりを目指します。

基本目標7 「にぎわいとくしま」の実現

～地域の個性を伸ばし、都市部・中山間地域を問わずにぎわう「にぎわいとくしま」の実現を目指します～

近畿に対する四国の玄関口という徳島県の地理的優位性を活かし、大規模イベントの開催や特長ある観光地づくりなどにより、交流を活発化させることが有効です。

また、第三の社会資本といわれるIT基盤の整備を図るとともに、地域おこしや将来を見据えた戦略的な市町村合併が重要です。

このような取り組みを進め、都市部はもとより中山間地域などの農山漁村も活力のある、県内どこもがにぎわう、地域づくりを目指します。

第4 施策の展開

1 施策展開にあたっての考え方

基本目標の達成に向け、各基本目標ごとにできる限り目標水準（数値目標）を掲げ重点的に施策を展開します。

施策の展開にあたっては、社会の様々な変化を敏感に捉える「感性」、時代を先取りする前例にとらわれない柔軟な「発想」、時期を逸することなく素早く対応する「行動力」、を「基本姿勢」として取り組みます。

また、「県民の目線」、「環境の視点」、「ユニバーサルデザインの考え方」の「視点」をあらゆる施策に取り入れます。

2 重点施策

重点的に展開する施策は、以下のとおりです。

基本目標1 「オープンとくしま」の実現

重点施策	主な取り組み
1 オープンとくしま の展開	県民の目線に立った、条例や要綱に基づく制度を踏まえた徹底した情報公開と積極的な情報提供 「とくしま円卓会議」、「しゃべり場とくしま」、県のホームページへの提言の場の設置などによる県民との対話の推進 パブリックコメント制度の着実な実施や、県政モニター制度のIT化など広聴の充実
2 クリーンとくしま の実現	「徳島県の公務員倫理に関する条例」の施行 「業務改善・公益通報制度」や「業務に関する要望、意見等に対し適正に対応するための制度」の導入 電子入札の導入や徳島県入札監視委員会による審議など、入札制度の改革
3 とくしまパートナ ーシップの推進	NPO・ボランティアとの連携・協働による官民協働の取り組みを具体的に進めるための基本方針の策定 道路や河川などの清掃を県民・企業・行政が連携して行うアドプトプログラムの全県的な普及 公共事業における計画段階からの住民参加の推進
4 リフレッシュとく しまプランの展開	職員の改革意識の醸成などを通じ、県民の目線で仕事をする県庁の意識改革の推進 財政の中期展望の作成など財政健全化に向けた取り組みの推進 総合事務所化に向けた出先機関の再編・機能強化

基本目標2 「経済再生とくしま」の実現

重点施策	主な取り組み
1 経済再生のための 体制づくり	<p>徳島県経済再生推進本部や徳島県経済再生戦略会議の運営など、官民一体となった「徳島県経済再生プラン」の計画的推進</p> <p>商工関係団体や農林水産業関係団体の合併・広域化等による体質強化の促進</p> <p>経営感覚に優れた企業や人づくりの推進</p>
2 とくしま産業再生 事業の推進	<p>機械金属工業・木工業の活性化の支援や、公共事業・住宅リフォーム等への県産木材の利用推進</p> <p>中小企業の経営革新や建設業者の経営多角化への支援</p> <p>経済変動対策資金（セーフティネット関連）の融資枠拡大など、金融セーフティネットの構築</p>
3 とくしま起業倍増 プランの展開	<p>学生起業家創業支援講座の開催やコミュニティビジネスの創業支援などによる、起業家の創出</p> <p>投融資、事務所確保への支援、受注機会を生み出す「お試し発注制度」の創設などによる、起業家・ベンチャー企業の育成支援</p> <p>産学官の連携による新産業の創出</p>
4 とくしま産消連携 事業の推進	<p>特定の需要に対応する「オンリーワン品目」創出のための技術開発</p> <p>特徴ある農産物を生産・供給する「オンリーワン産地」の育成</p> <p>消費者と生産者の交流を通じた地場産品の活用を促進</p>
5 新鮮とくしまブラ ンド戦略の展開	<p>安全・安心、新鮮、高品質な農林水産物「とくしまブランド」の供給体制の確立と浸透</p> <p>ブランド品目の生産施設や出荷流通体制の整備に対する支援</p> <p>新たなブランド品目の育成に向けた研究・技術開発</p>
6 とくしま雇用戦略 の展開	<p>コールセンター等の県外企業の誘致や既存企業の新増設への支援</p> <p>福祉分野における雇用拡大を図る「とくしま福祉で雇用創出作戦」の展開</p> <p>ワークシェアリングの導入や職業能力開発の充実</p>

基本目標3 「環境首都とくしま」の実現

重点施策	主な取り組み
1 環境首都とくしまの基盤づくり	<p>「環境首都とくしま憲章（仮称）」の普及による県民を挙げた自発的な取り組みの促進 環境首都の知の拠点「とくしま環境科学機構」の創設による環境分野での調査・研究の推進 I S O 1 4 0 0 1による環境基本計画の効果的な推進</p>
2 とくしま地球環境ビジョンの展開	<p>「とくしま地球環境ビジョン」の構築による地球環境問題への総合的な取り組み とくしま環境県民会議を中心とした、県民等の自主的・積極的な地球にやさしい環境活動の取り組みへの支援 木質バイオマスエネルギー利用促進など新エネルギーの普及促進や、車両用L E D式信号灯器の計画的な整備</p>
3 とくしまいい生活環境づくり	<p>日常生活や通常の事業活動における環境への負荷の低減などを推進する「徳島県生活環境保全条例（仮称）」の制定 環境ホルモン（内分泌かく乱化学物質）などの化学物質対策の推進 環境への負荷の少ない持続性の高い農業に取り組むエコファーマーの育成・支援</p>
4 きれいな水環境の実現	<p>流域下水道、公共下水道、農業集落排水処理施設、合併処理浄化槽などの整備や普及啓発を一体的に推進する「生活排水処理ホップ・ステップ・ジャンプ作戦」の展開 生活排水等による汚染の著しい都市河川などの実態調査や、県民に対する意識啓発 水質汚濁に係る総量削減計画に基づく、瀬戸内海区域における水質汚濁対策の総合的・計画的な取り組みの推進</p>
5 とくしま廃棄物ゼロ社会づくり	<p>ゼロエミッション実現に寄与する環境関連産業の創出・振興を図るための、リサイクル施設整備などの支援 環境に配慮した製品等の優先的な購入を推進するため、地域版「グリーン購入ネットワーク」を設立 一般廃棄物処理施設に係る市町村等への支援、広域処理体制の整備や、廃棄物の不法投棄監視ボランティアの育成</p>
6 自然との共生の推進	<p>希少野生生物や外来種対策の方針策定や、野生生物の生息・生育空間の保全・復元・創出 優れた自然景観等の保護や利用の増進を図るための施設整備 自然環境に配慮した農業・農村整備の推進</p>
7 環境重視の多様な森林づくり	<p>間伐対策や複層林への誘導による健全な森林の整備 保安林の指定や森林整備・保全計画の策定による適切な森林の管理・保全 森づくりボランティア等による県民参加の森づくりの推進</p>

基本目標4 「安全・安心とくしま」の実現

重点施策	主な取り組み
1 危機管理のための 体制づくり	<p>大規模災害発生時等の緊急事態に対応できる危機管理能力を持った知事直轄の新たな組織の設置</p> <p>総合情報通信ネットワークシステムなど災害発生時の情報通信網の再整備</p> <p>被災者に対する住宅再建支援制度の創設や災害関係専門家の育成</p>
2 とくしま - 0（ゼロ）作戦の展開 （南海地震発生時の死者ゼロを目指す）	<p>自主防災組織の結成促進、広域応援体制の充実・強化、防災意識の啓発などによる地域防災力の向上</p> <p>木造住宅の耐震化、災害時の拠点となる病院や県有施設の耐震化などによる地震・津波災害に強いまちづくり</p> <p>図上訓練などによる災害対応能力の強化</p>
3 自然災害に強い 県土づくり	<p>洪水や高潮等による被害から生命を守るために必要な河川、海岸の整備</p> <p>土砂災害による被害から生命を守るために必要な砂防、治山事業の促進</p>
4 食の安全・安心の 推進	<p>「とくしま安² 農産物認証制度」の創設などにより、消費者が安心して購入できる農産物供給体制の構築</p> <p>食品表示の適正化のための啓発指導</p> <p>食品の製造から販売までの各段階における監視指導の充実強化</p>
5 とくしま安心ライフの 実現	<p>救命救急医療体制の充実など、いつでもどこでも質の高い医療サービスが受けられる医療体制の整備</p> <p>休日・夜間の小児救急の受け入れ体制の充実や周産期医療体制の整備</p> <p>消費者保護条例の見直しや悪質商法などによる消費者被害の苦情相談処理体制の整備</p>
6 健康とくしまの 実現	<p>糖尿病などの生活習慣病や喫煙による健康被害防止のための普及啓発の推進</p> <p>感染症対策について、情報収集・提供、検査体制の確立や適切な医療を行うための体制整備</p> <p>高齢者などが身近な地域でリハビリテーションを受けられる環境づくりの推進</p>
7 犯罪や交通事故の ないまちづくり	<p>身近な街頭犯罪が多発する地域を対象とした、集中的な犯罪対策の実施</p> <p>参加体験型講習会等の開催により、早めの点灯など交通マナーの向上を推進</p> <p>「あんしん歩行エリア」の指定による交通安全施設の重点的な整備や交通規制の見直し</p>

基本目標5 「いやしの国とくしま」の実現

重点施策	主な取り組み
<p>1 いやしの国とくしまの体制づくり</p>	<p>「徳島県教育振興基本構想」や「徳島県スポーツ振興基本計画」の着実な推進 青少年施策の基本指針である「とくしま青少年プラン 21」の着実な推進による青少年育成 今後の文化振興の基本理念や方向性などを示す文化振興に関する条例の制定</p>
<p>2 とくしま子どものびのびプランの展開</p>	<p>少人数学級の実施やチームティーチングなどによるきめ細かな指導体制の整備 中高一貫教育校の設置や一芸入試の考え方を取り入れた制度の導入 ITを使った教材作成の教員研修などIT教育の推進</p>
<p>3 生涯を通じた学びの推進</p>	<p>徳島の人物・自然・文化に関する講座の開催 就業体験などにより、社会人としての資質を高める高校生キャリア教育の推進 生涯学習や情報教育の支援等の拠点としての総合教育センター(仮称)の整備</p>
<p>4 明日のとくしまを担う青少年づくり</p>	<p>ボランティア活動などの青少年の自主的な取り組みの支援 洋上大学など多様な体験機会の提供 青少年の非行防止に取り組むための支援体制の充実や人材育成</p>
<p>5 あわ文化の創造・発信</p>	<p>今後の文化振興の基本理念や方向を示す条例の制定 身近に世界レベルの芸術文化に触れる機会を充実させる「とくしまきりぎり芸術文化事業」の実施や全国的な祭典の開催 人形浄瑠璃の振興、阿波踊り等の伝統芸能情報のインターネットによる全国発信や、守護町勝瑞遺跡の発掘調査</p>
<p>6 いやしの空間づくり</p>	<p>ゆっくりと歩いてめぐることができる「いやしのみちづくり」の推進や、農山漁村生活体験の内容充実と情報発信 新町川河畔の光プロムナードの整備 四国のいやしの文化の継承と情報発信</p>
<p>7 とくしまスポーツ王国づくり</p>	<p>四国初のJリーグチームの実現への取り組みやホームスタジアムのための施設改修 プロ野球公式戦開催のための施設改修や、総合型地域スポーツクラブの支援などの生涯スポーツ拠点づくり 指導者の育成やスポーツ医・科学による選手の支援などの競技力向上対策の実施</p>

基本目標6 「ユニバーサルとくしま」の実現

重点施策	主な取り組み
1 ユニバーサルとくしまの体制づくり	<p>「とくしま男女共同参画実行プラン」、「とくしま長寿プラン(2003~2007)」、「徳島県障害者施策新長期計画」の着実な推進 少子化対策の集中的・計画的な取り組みのための行動計画の策定や、ユニバーサルデザインの考え方による各種施策の推進のための基本指針の策定 「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」の策定や、「徳島県人権教育推進方針」の普及</p>
2 男女共同参画立県とくしまの実現	<p>県の各審議会委員等への女性の登用比率を4割超とするなど、女性の政策・方針決定過程への参画の促進 男女共同参画活動支援のための拠点の整備 講座等による専門家などの人材育成やフェスティバル等の開催などによる普及・啓発の推進</p>
3 健やか子育て環境づくり	<p>少子化対策の集中的・計画的な取り組みのための行動計画の策定 働く女性、共働き世帯を支援する保育サービスや育児休業取得の促進などを図る「とくしま女性輝き事業」の実施 児童虐待の早期発見・早期対応や虐待防止に向けた普及啓発</p>
4 高齢者いきいきとくしまの推進	<p>シルバー大学院の創設など、高齢者の学習機会の提供により能力の再開発を支援する「とくしまシルバーカレッジ事業」の創設 長寿社会づくりについての県民意識の高揚を図る徳島県健康福祉祭の開催 働く意欲のある高齢者の就業機会の確保や、高齢農林漁業者が持つ技術や能力を活かした活動ができる環境づくり</p>
5 とくしまハンディキャップ・フリーの推進	<p>高齢者に対する介護予防、生活支援や寝たきり予防のための普及啓発 障害者の活動と交流を支援する新たな拠点の整備 特性と能力に応じた就労機会の拡大やコミュニケーション支援などによる障害者の自立と社会参加の促進</p>
6 ユニバーサルなまちづくり	<p>利用者の視点に立った公共事業を推進するための「とくしま公共事業ユニバーサルデザイン推進プラン」の策定 ノンステップバスの導入促進 在県外国人の生活相談等に応じる専門ボランティアの養成など支援体制の充実</p>
7 人権が尊重される社会づくり	<p>本県の人権教育・啓発に係る諸施策の基本となる「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」の策定 広く県民が気軽に利用し学習が行える人権教育・啓発推進の中心的役割を果たす拠点の整備 「同和問題の解決に向けて(基本方針)」に基づく同和問題解決に向けた施策の計画的推進</p>

基本目標7 「にぎわいとくしま」の実現

重点施策	主な取り組み
1 とくしま大交流 回廊（スーパーコリ ドー）の推進	本四道路における弾力的な料金設定による通行料金の軽減化 横断自動車道・阿南安芸自動車道など高速交通ネットワークの整備促進や主要幹線道路の整備 滑走路拡張など広域交流ネットワークの拠点となる空港の整備
2 交通渋滞のない まちづくり	徳島市中心部と周辺部における放射・環状道路の整備 渋滞の著しい交差点の改良や鉄道の高架化の推進 パークアンドライド等による公共交通機関の利用への転換や時差通勤の推進
3 いいとくしま 観光・交流の推進	マスメディア等を活用した国内外に向けた広告宣伝・情報発信や、ロケ撮影の支援・誘致 阿波おどりの活性化や、地域の個性を活かした魅力ある観光地づくり 「もてなし」による心のこもった受入態勢づくりと、観光情報案内の充実
4 にぎわい活力 とくしまの実現	Jリーグ公式戦の開催 大規模イベントなどの誘致と活性化 開催経費や郷土芸能招聘費への支援による大会・会議の誘致促進
5 e - とくしまの 実現	「e - とくしま推進プラン（仮称）」に基づく、様々な分野でのIT化の戦略的な取り組みの推進 ケーブルテレビネットワークなど高速情報通信基盤の整備、講習会などによる県民のIT利活用能力の向上 ITを活用した行政情報の提供や、行政手続のオンライン化等を図る、「電子自治体」の構築の推進
6 とくしま合併戦略 の展開	市町村の合併の特例に関する法律に基づく市町村合併への支援 法期限内の合併の実績を踏まえた法期限後の戦略的な市町村合併構想の策定
7 元気わがまち・ むらづくり	市町村等が実施する地域の個性を生かした魅力ある地域づくりなどへの支援 NPO等各種団体との連携強化などによる参加と協働の地域づくりの推進 構造改革特区構想の推進等による地域づくりへの支援

第5 計画の推進方策

1 推進にあたっての考え方

計画に基づく新しい徳島づくりは、県民の主体的な参画の下、県民、事業者、行政が、それぞれの役割を踏まえ、「三位一体」で連携・協働して進めることが不可欠です。

このため、

県民への徹底した情報公開と積極的な情報提供を行うとともに、双方向で県民との対話を図りながら、計画の推進や見直しを図ります。

NPO（民間非営利団体）・民間事業者の持つ活力の導入や大学等の高等教育機関の人的・知的資源の活用を図るなど、これらの者と積極的に連携するとともに、市町村・国などとも幅広い連携を図ります。

財政の健全性を確保しながら、県民の目線に立った新たな行政運営を推進します。

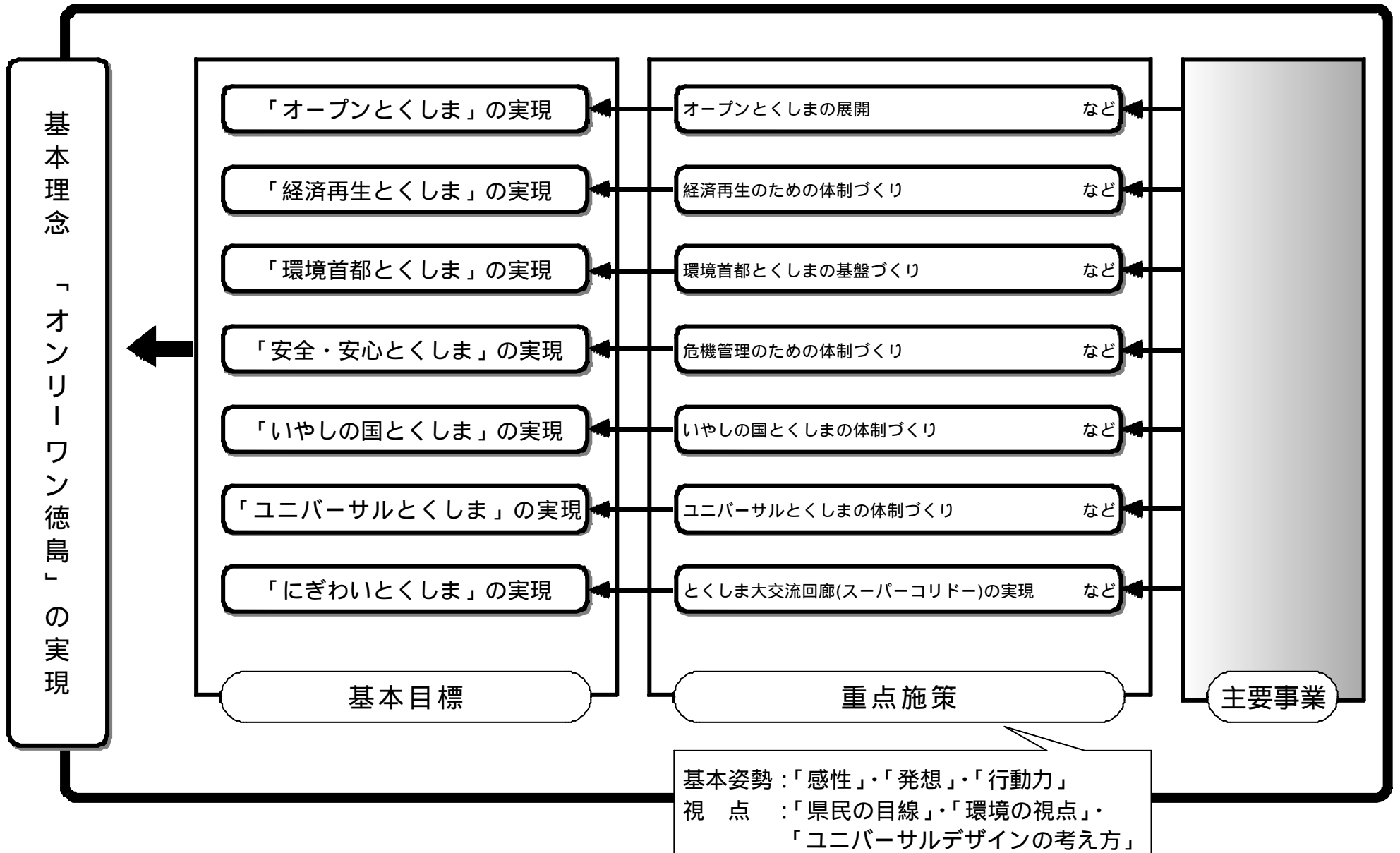
2 進行管理と見直し

県民ニーズや社会・経済・財政の様々な事情の変化に適切に対応し、計画の円滑な推進を図るためには、計画の進捗状況を把握し、適切な進行管理を行う必要があります。

このため、

点検評価サイクル（いわゆる「PDCAサイクル」）による政策評価の手法を活用し、毎年度、計画に位置づけられた重点施策や主要事業の達成状況などを点検・評価するとともに、改善見直しを行います。

計画の体系図



すべての県民が、ここに生まれて良かった、住んで良かったと実感でき、誇りをもって夢を語れる徳島